

2026年5月
スタート!

制度が変わる今、支援もアップデートする。

学ぶだけでは終わらない、支援が変わる休日の2時間

講師:

上原 正道 先生

ブラザー工業株式会社

健康管理センター センター長・統括産業医



学び、考え、語り合い、支援の基盤をともに育てる

第1回 ブリッジ両立支援勉強会

労推法改正と両立支援のこれから

～ 産業医の立場から ～

2026

5/23 土

10:00-12:00

開催方法

オンライン Zoom

参加費

▶ ブリッジ会員：無料

▶ 一般：2,000円

定員

24名

新シリーズ、ブリッジ両立支援勉強会、始動。

2026年4月、労働施策総合推進法が改正され、治療と就業の両立への配慮が、企業にとって新たな責務となります。

「企業は何に困っているのか？」

「改正は医療現場にどう影響するのか？」

文書のやり取りだけでは埋まらない、医療と労働の“距離”を感じていませんか。今、求められているのは、制度理解の先にある、患者さんの在り方に着目した支援です。企業・医療双方に精通した産業医を迎え、法改正で求められていることを読み解きます。多職種との対話（グループシェア）を通し、明日からの関わりを「個人技」から「チーム知」へ。

患者さんの未来を、職種の壁を越えて共に支えませんか。



現場経験からの
講義で学ぶ



多職種の対話で
多角的な視野を得る



共有による気づきを
現場で活かす

お申込み・詳細は
こちらから→

申込締切：5/18（月）



こんな方におすすめ

- ✓ 両立支援に関心がある・携わっている方
- ✓ 産業医の視点から、現場に必要なことを学びたい方
- ✓ 法改正を踏まえて、企業としての対応を整理したい方
- ✓ 医療から企業への連携に難しさを感じる方
- ✓ 多職種の支援者で意見交換し、支援の質を高めたい方



仕事と治療の両立支援ネットワーク

一般社団法人仕事と治療の両立支援ネットワーク

〒464-0075 名古屋市千種区内山3-26-16 プロクシ千種11C

toiawase@bridge-nagoya.jp



ブリッジは、医療・労働の現場と連携し「治療とともに働く」を支援する団体です
活動はこちらから→



講師紹介

産業医科大学医学部卒。臨床研修終了後、松下産業衛生科学センター、松下電工（株）本社健康管理室にて産業医としての初期トレーニングを受ける。その後、産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学教室、厚生労働省労働衛生課を経て、2004年にブラザー工業（株）統括産業医となり、現在に至る。行政経験を生かして、産業保健体制の構築や人材育成を積極的に推進し、最近では健康経営や治療と仕事の両立支援に力を入れた活動に注力している。医学博士、産業医科大学産業医衛生教授（非常勤）、日本産業衛生学会産業衛生指導医、社会医学系指導医、労働衛生コンサルタント（保健衛生）。主な著書に、「産業医ストラテジー」（編集）バイオコミュニケーションズ、「産業保健スタッフのためのISO45001-マネジメントシステムで進める産業保健活動 JIS Q45100」（共著）中央労働災害防止協会。



上原正道先生
ブラザー工業株式会社
健康管理センター
センター長／統括産業医

01

ブリッジ両立支援勉強会について



医療・企業・支援職など異なる立場の専門職が集い、両立支援を学び・考え・語り合う場です。それぞれの現場で感じている課題や悩みを持ち寄り、多角的な視点から支援のあり方を探ります。（年3回）

02

労働施策総合推進法の改正とは



2026年4月の法改正により、企業は、反復して治療を要するすべての疾患について、仕事を継続できるよう努力義務が課せられました。医療と企業の連携の仕組み、準備はできていますか？

03

多職種で学ぶ意味



支援は一ヶ所だけでは完結しません。医療は「治療」を、企業は「働く場」を、支援職は「つなぐ役割」を担い、それぞれが異なる前提や価値観を持っています。相互理解が、より現実に即した支援につながります。

この勉強会で得られること



医療と労働の
視点理解



支援の見直し
のヒント



現場の課題を
共有



多職種との
つながり

一人で抱える支援から、つながりの中で支える支援へ



ご一緒に支援の質を高めましょう！ お申し込み・詳細はこちらから→

